

「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



自分の力を出し切ることの大切さ！ ～「農夫の話」から～

【なまけずがんばろう「農夫の話」】

～長谷川博之著～

昔、大柄ですごい筋肉の大男と、小柄で細い小男がいました。大男は一日に 300 坪(25m プール三つ分)の田んぼを耕す力を持っていました。しかし、怠け者であった大男はのんびりと手を抜きながら働き、100 坪しか耕しませんでした。

一方、小男は全力で働き続けても、一日に 50 坪しか耕せません。それでも小男は文句も言わず、汗水流して一生懸命に働き続けました。

そんな小男の頑張りを、大男は馬鹿にしたように見ながら、毎日毎日のんびり過ごしていました。大男は、小男の何倍も畑を耕せますが、そんなに頑張っても仕方がないと考えていたのです。

三か月後、大男はあることに気がつきます。何だったと思いますか。

小男が、いつの間にかたくさん畑を耕せるようになっていたのです。

これを見た大男は焦り、そろそろ本気を出そうかなと考えます。しかし、のんびりと働いていた大男の体力は衰え、筋力も落ち、200 坪しか耕せない体になっていました。

一方で小男は、毎日自分の力を精一杯出して働いたおかげで、体力がつき、筋力もつき、がっしりとした体になっていました。小男はすでに、100 坪を耕せるようになっていたのです。それだけではなく、真面目で一生懸命な小男を見て、一緒に働きたいという仲間が次々と増えていきました。たくさん土地が耕せるようになり、収入も増えていきます。自分の家を建てることもでき、素敵なお嫁さんにも恵まれました。小男にはよい出来事が次々と起きていったのです。

一方、大男は焦るばかりでうまくいかないことが多くなっていきました。いつも適当に仕事をしていた大男は周りからも信用されず、誰も手伝ってくれません。収入も増えませんでした。

このような状況に耐えかねた大男は空を見上げて言いました。

「なぜ、あいつばかり。この世には神様も仏様もないのか」

この間にもコツコツと自分の努力を積み重ねてきた小男。ついに大男よりもたくさん畑を耕せるようになり、幸せに暮らした、という話です。

「なぜ、あいつばかり。この世には神様も仏様もないのか」…この大男の問いかけに、

あなたなら大男に何と答えますか？

班や学級、家族で話をしてみよう。

力を出し切れ！ 出し切らないと力は増えない。

人間力とはそんなもんだ。

人間は全力を出すから力が增える。

全力で乗り越えてこそ、思いがけないことが起きる！

～伏見工業ラグビー部元監督の山口良治さんの言葉～

自分の力を精一杯出しきって生きることの大切さを伝えてくれる言葉だね。日々自分の力を出しきっている人には、力がついていくだけでなく、奇跡も味方する！まさに**神様の 5cm!**

